

山田 ともこ

だより

号外

世知原の
皆さまと共に全力！



長崎県議会議員

山田 朋子(2期目・41歳)

- 佐世保市・佐々町・小値賀町選出
- 文教厚生委員会委員
- 離島半島振興特別委員会委員
- 息子は中学1年生、自宅は須佐町

板山トンネル、整備へ！

山田ともこの提案を受け、知事が答弁。

●長崎県の26年度予算で1億1000万円の調査費を確保しました！



ご報告

◎私は初当選以降、世知原の皆さまと共に板山トンネルの建設促進を県政の重要課題として取り組んで参りました。22年3月の一般質問では、路面凍結や濃霧などの状況を知事に報告し、事業の必要性を訴えました。24年11月の一般質問では、玄海原発からの避難道路としての必要性も提起し、「事業化に向けた調査に入る」との答弁を得ることが出来ました。

◎さらに25年11月に行った一般質問では、県より「板山・棕呂路トンネルについて優先度を検討した結果、地元期成会の判断や原発有事の際の避難道路としての利用性などから、「板山トンネルを優先的に整備する」との説明が行われました。

◎そして今回、26年3月12日の一般質問では、知事より「費用対効果や玄海原発30キロ圏内からの避難経路として、新規事業化することにした」との答弁を引き出しました。

◎引き続き、県北選出の県議全員で力を合わせて、板山トンネルの整備着工に向け全力で取り組んで参りますので、今後とも地元の皆様のご指導ご鞭撻の程をお願い申し上げます。

◆ 今後のスケジュールについて ◆

現在、県が検討している規模(長さ：2100m、片側1車線、車道幅：5.5m、幅：7m、総事業費：39億円)を軸に、期成会や地元と協議しながら測量・調査・ルートを策定する。

《 26年3月13日 長崎新聞より 》

県道佐世保世知原線 板山トンネル建設へ

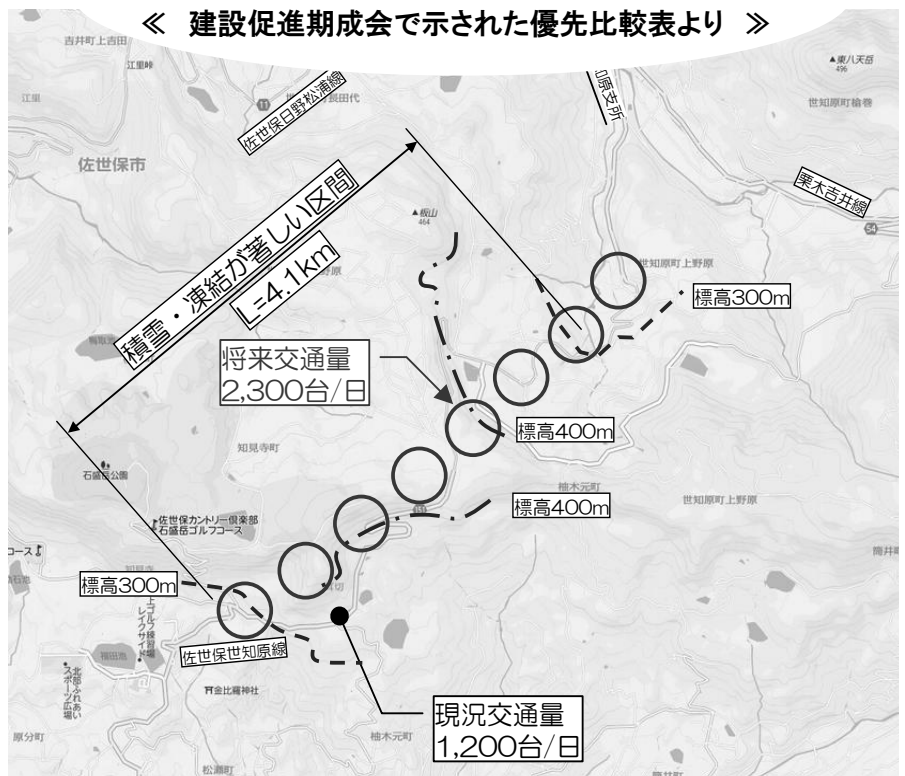
中村法道知事は12日の県議会一般質問で、佐世保、松浦両市を結ぶ県道のうち佐世保世知原線で板山トンネル建設に着手する方針を明らかにした。県議会に提案中の2014年度一般会計当初予算案に関連費用1億1600万円を盛り込んでいる。

県道路建設課によると、同トンネルを含む工区は佐世保市の知見寺町と世知原町を結ぶ2.1キロ。片側1車線。完成までに7～10年程度かかり、総事業費は39億円を想定している。

山田朋子議員(改革21・新生ながさき)の質問に対し、中村知事は「費用対効果や玄海原発30キロ圏内からの避難経路としての利用などを総合的に判断し、新規事業化することにした」と答弁。14年度については「地質調査などに取り組み、具体的なルート決定に向けて佐世保市や地元と協議したい」と述べた。

同トンネルをめぐっては、佐世保、松浦両市の市長や市議会議長らが1997年に期成会をつくり、県に建設を要望してきた。(村田傑人)

《 建設促進期成会で示された優先比較表より 》



地元の要望は長さ4,1キロ、県は費用対効果から2,1キロが妥当と判断。

世知原の前進！そして未来へ！

① <22年3月18日・一般質問> 山田の主張と問題提起の内容

● 県北地域の地域間交通として、椋呂路・板山トンネルの整備が長年の課題である。世知原町は、周辺地域に比べて過疎化が進んでおり、高齢化率も33%と県平均の25%を大きく上回るなど大変厳しい状況にあり、トンネルの整備が不可欠。この2つのトンネルは、佐世保市中心部から旧世知原町を經由して松浦市に至る県北地域の基幹道路である。この区間は急な坂道で、狭い箇所や急カーブが多く、冬場の路面凍結や濃霧などにより、毎年、数日間は通行止めとなることから、地域住民の日常生活はもとより、緊急車両の通行や防災、地域振興の観点からも、トンネルの早期実現が必要だ。このため、佐世保市と松浦市による建設促進期成会を中心として、これまでも県に整備を求めてきた。しかし、現時点において、県としての具体的な検討は行われていない。

② <24年11月29日・一般質問> 山田の主張と問題提起の内容

● 県は10月11日の佐世保市の要望の際、佐世保市と松浦市を世知原経由で結ぶ「椋呂路・板山トンネル建設促進期成会」が強く建設を求めている椋呂路・板山トンネルに関し、石塚副知事が「2本整備すると費用が多額になる」「緊急性や費用対効果を精査し、どちらの優先度が高いかを検討したい」と述べ、国への支援を要望するとの考えを示した。さらに世知原町は、玄海原子力発電所から30キロ圏内に入っており、万が一、玄海原子力発電所で事故・原子力災害が発生した場合の避難道路、つまり命の道路として早期に建設すべきと思う。

住民の暮らしを守る いのちの道路『板山トンネル』

③ <25年9月13日・一般質問> 山田の主張と問題提起の内容

● 7月17日に行われた板山・椋呂路トンネル建設促進期成会において、板山トンネルの優先度が確認された。県としての優先度の決定を今年中に行ってほしい。決定以降は測量や地域住民への説明会を行うことになると思うが、積雪と凍結が著しい区間が4.1キロある。住民の声を十分に踏まえ、安心して暮らし若者の定住化に繋がっていくことが出来る道路をつくってほしい。



25年9月15日 世知原熊野神社のしめ縄づくり



26年1月2日 世知原地区の成人式にて

世知原の皆様と、整備促進に絶え間なく取り組み続けて来ました。

● 世知原の皆様と知事を訪問し、板山トンネル建設の必要性を直接訴えました。



22年6月18日 県庁(応接室)

● 宮内県議会議長(当時)に板山トンネルの建設促進を要望しました。



24年4月27日 県庁議長室

● 世知原の皆様と共に県北振興局長に要望書を手渡しました。



24年5月28日 県北振興局

— 山田朋子(やまだともこ)の略歴 —

- ◎昭和47年4月6日生まれ(現在 41歳)
- ◎小佐世保小学校、旭中学校、聖和女子学院高校、佐賀短期大学卒業
- ◎メーカー系商社に勤務したのち、山田正彦衆議院議員秘書を務める
- ◎平成19年 長崎県議会議員初当選 平成23年 2期目当選
- ◎平成24年 長崎県議会総務委員会委員長(現在 文教厚生委員会委員)

